

## 映画上映会 & 講演会

「認知症について一緒に考えましょう」

# 70歳からの老いと 認知症と暮らし

10月5日(土曜日) 13時から16時20分

開催場所 北沢タウンホール スカイサロン

参加費:無料 定員:60名(申し込み順)

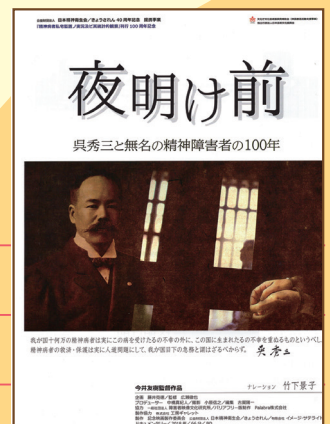
東京都世田谷区北沢2-8-18  
下北沢駅より徒歩5分



老いることと認知症、日々の暮らしについて、一緒に考えてみませんか? 今からおよそ100年前に、座敷牢に幽閉された精神病患者を救おうと奔走した医師 呉 秀三の業績を追ったドキュメンタリー映画『夜明け前』の上映会。その映画監督である今井友樹さんと大井 玄医師の対談。そして、大井 玄医師の講演会にぜひご参加ください。



大井 玄医師



### 当日のスケジュール

- |        |                              |
|--------|------------------------------|
| 13時    | 開催のご挨拶                       |
| 13時10分 | 映画『夜明け前』上映(上映時間 66分)         |
| 14時17分 | 休憩                           |
| 14時30分 | 大井 玄医師からのお話「老いと認知症と暮らし」(60分) |
| 15時30分 | 大井 玄医師と今井友樹監督の対談(30分)        |
| 16時    | 質疑応答(20分)(大井 玄医師と今井友樹監督への質問) |
| 16時20分 | 終了                           |



今井友樹監督

映画上映会のみ、講演会のみ参加も可能です

### 申し込み 方法

右のQRコードを読み取り、申し込みフォームにてお申し込みください。  
お電話でのお申し込みも受け付けております TEL:03-3410-3217



主催・問い合わせ先: チームたね 早川景子 <https://www.tanetane.org>  
お電話: 03-3410-3217 メール: [info@tanetane.org](mailto:info@tanetane.org)



## 大井 玄

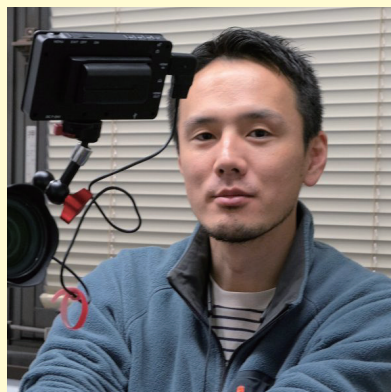


1935(昭和10)年生まれ。東京大学名誉教授。東大医学部卒業後、ハーバード大学公衆衛生大学院修了。東大医学部教授などを経て国立環境研究所所長を務めた。著書に『老年という海をゆく』『いのちをもてなす：環境と医療の現場から』『環境世界と自己の系譜』（みすず書房）、『看取りとつながり』（サンガ）、『呆けたカントに「理性」はあるか』『人間の往生』『「痴呆老人」は何を見ているか』（新潮社）、『病から詩がうまれる～看取り医がみた幸せと悲哀～』（朝日新聞出版）ほか。

## P R O F I L E

1979年岐阜県の東白川村生まれ。日本映画学校（現日本映画大学、川崎市）を卒業後、民族文化映像研究所（東京）で記録映画の製作などに携わる。2010年に独立し、2014年、故郷のかすみ網猟をテーマにした『鳥の道を越えて』を発表。同年度の文化庁映画賞の文化記録映画優秀賞を受けた。2018年『夜明け前』を制作。最新作は、東白川村でのツチノコ騒動などをテーマにした記録映画『おらが村のツチノコ騒動記』（2024年）。

## 今井友樹



## 映画『夜明け前』

日本の精神医学・精神医療の草分けといわれる呉 秀三のドキュメンタリー。1918年（大正7年）、帝国大学医科大学精神病学教室の教授だった呉は、全国の精神患者がどのように扱われているかを調査した報告書「精神病者私宅監置ノ実況及び其統計的観察」をまとめる。当時、多くの精神障害者は自宅の座敷牢に幽閉されており、呉はそうした状況の改善のため奔走した。それから100年を経た現代でも、精神病に対する誤解や偏見、差別に起因する監禁事件などが起こっているが、現代の精神障害者の問題にはどのようなものがあるか、呉の生涯や残した論文から何を学ぶのか、呉 秀三の研究者や座敷牢問題の調査を進める大学教授らのインタビューなども交え、近代日本が歩んだ精神科医療と精神障害者の歴史をひも解いていく。ナレーションは女優の竹下景子。



「チームたね」とは

認知症と暮らしを考えながら、いろいろな方とのコラボレーションで様々な活動をしているのが「チームたね」です。認知症がある人とご家族と一緒に楽しむ「ミーティングセンターたね」、誰でも参加できる「下北沢オレンジバル」などを開催しています。ぜひホームページをご覧ください。

